

総務常任委員会記録

令和5年1月11日(水) 午前9時28分～午前10時29分(9階903会議室)

○出席委員(9名)

委員長	梅津 一匡
副委員長	根本 雅昭
委員	石原洋三郎
委員	高木 克尚
委員	小松 良行
委員	村山 国子
委員	小野 京子
委員	黒沢 仁
委員	宍戸 一照

○欠席委員(なし)

○案件

- 1 委員長報告のまとめについて
- 2 その他

午前9時28分 開 議

(梅津一匡委員長) おはようございます。ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

議題は、お手元に配付のとおりです。

初めに、委員長報告のまとめについてを議題といたします。

前回の委員会では、これまでの意見開陳の内容などを基に調査の振り返りを行い、提言項目と委員長報告の構成案についてご協議をいただきました。その際いただいたご意見を基に正副委員長手元で委員長報告の素案を作成いたしましたので、本日はその内容についてご協議させていただきます。

進め方といたしましては、配付しております委員長報告の素案につきまして、初めに黙読の時間を取らせていただき、その後、自由協議により協議してまいりたいと存じます。

なお、素案を黙読いただく前に2点ほどご説明をさせていただきます。1点目は、提言項目の文言の一部修正についてです。提言項目案、項目のみの一部修正の資料をお開き願います。1の(3)、市民との協働による防災条例の策定の協働という文言につきまして、本市では現在、各施策において共創の文言を使用していることから、当該提言項目につきましても協働を共創に修正させていただきます、

委員長報告素案において共創の文言を使用しております。その他、一部文言の修正等を行っております。

2点目につきましては、委員長報告素案における黄色マーカー部分についてでございます。委員長報告素案の1ページをお開き願います。委員長報告素案の1ページですが、そちらの17行目でございます。委員会の開催回数につきましては、今後変更となる可能性もあることですから、空欄とさせていただきます。

次に、2ページ及び3ページをお開き願います。認知バイアス、リスクリテラシー、情報と行動のパッケージ化、避難トリガーの各文言につきまして、前回の委員会においてご意見をいただきましたことから、各文言について説明を記載させていただきます。

以上のことを踏まえまして、確認のため、10分程度黙読の時間をお取りいたします。各自ご確認のほどよろしくお願いたします。

【資料黙読】

(梅津一匡委員長) それでは、委員長報告の素案についてご協議をいただきたいと思いますが、活発な議論が行えるよう自由協議とさせていただきます。

それでは、ただいまから自由協議とします。

【この間自由協議】

(梅津一匡委員長) 自由協議を終結いたします。

ただいまご協議いただきましたが、具体的には6ページの小学校区というところに、など、という文言を加えるであったり、様々なご意見をいただいたところでもありますけれども、全体のフレーム自体を崩さない中で、文言をさらにブラッシュアップしていこうというようなご意見が出たところがございますので、次回再度お示しをできるような形に作り上げていきたいと思っております。その際に、今回の自由協議の中で出たご意見を網羅した形になっているかどうかという部分も次回皆様に確認いただけるような形でお示しをしたいと考えてございますので、よろしくお願いたします。そのようなことでよろしいですか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(梅津一匡委員長) では次に、その他を議題といたします。

正副委員長からは以上となりますが、そのほか委員の皆様から何かございますでしょうか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(梅津一匡委員長) それでは、以上で総務常任委員会を終了いたします。

午前10時29分 散 会

総務常任委員長 梅 津 一 匡